

第2回 橋本市都市計画タウンミーティング 資料

「奈良県明日香村」における当社の取組みについて

令和3年10月23日（土）



〈目 次〉

- 1 ごあいさつ（当社概要について）
- 2 明日香村との出会い
- 3 あすかマルシェの様子
- 4 官民連携包括協定の締結について
- 5 官民連携包括協定に基づく活動スキーム
- 6 5つの具体的プロジェクトと企業版ふるさと納税（活動の全体像）
- 7 当社のプロジェクト体制
- 8 貸農園プロジェクト
- 9 貸農園を活用した各種PR活動事例
- 10 空き家古民家再活用プロジェクト（活動スキーム）
- 11 4ヶ所の古民家プロジェクト（MAP）
- 12 ①古民家ホテル「プランシエラ ヴィラ 明日香」
- 13 // 客室レアウト・最新技術の導入例・村内製品の活用等
- 14 ②古民家ホテル（仮称）「飛鳥2号」
- 15 ③古民家café&ホテル（仮称）「岡 1号」
- 16 ④茅葺（かやぶき）屋根古民家活用計画（産官学連携プロジェクト）
- 17 // 学生実習の様子
- 17 2021年 飛鳥ハーフマラソン ON-LINE
- 18 2022年 飛鳥ハーフマラソン（実走計画）
- 19 企業版ふるさと納税
- 20 おわりに

マンション事業を行なう長谷エコーポレーションを中心に、建設関連事業とサービス関連事業の両輪体制で**住まいと暮らしの創造企業グループ**への飛躍を目指しています。



長期優良住宅「ブランシェラ 吹田片山公園」

マンション施工累計実績 **670,397戸** (2021年5月末現在) お客さまの声を聞き、おかげさまで60万戸突破！
マンション建設No.1の実績です

和歌山県橋本市内ではこれまでに944邸のマンションを施工させていただきました。

長谷エグループのCSR

長谷エグループ企業理念

**都市と人間の最適な生活環境を創造し、
社会に貢献する。**

私たちは、住まいと暮らしの創造企業グループとして、企業理念の実現に向け以下のCSRビジョンのもとに、CSRへの取り組みを推進していきます。

CSRビジョン

大切な暮らしを、
もっと、ずっと。

私たちは、一人ひとりの暮らしに寄り添い、よりよい毎日を創っていきま
未来を想うまちづくりに、人びとと共に挑戦していきます。

明日香村
プロジェクト

暮らしを取り巻く社会課題領域

気候変動対応	生態系保全	安全・安心	防災・災害対応	地域活性化
人口動態変化・高齢化社会への対応	ダイバーシティ推進	女性活躍	健康・医療・介護	
職業教育・雇用機会創出	保育・子育て	持続可能な消費	資源循環	

「明日香村」との出会い

当社社員



お取引先ご担当様
(明日香村ご出身)

「マンションの長谷工がマンション事業が難しい明日香村で？なぜ？」と尋ねられます。

それは、長年の仕事で育まれた「人と人とのつながり」でした



- ①お取引先ご担当様が「ご定年」を迎えられ、明日香村の同級生の方々と民間企業経験を活かし「**明日香村の活性化のために何かできないか？**」との熱い議論があったそうです。
- ②そして、当社社員に「明日香村の活性化」についての相談があり「**まずは現実的に相互にメリットがあり具体的に取り組めるコトは何か？**」とのお話になりました。
- ③その結果「明日香村は主力の農産品販路拡大効果」・「当社はマンションにお住まいの皆様の満足度向上効果」を見込み、**2015年より**弊社グループが管理するマンションのお客様向けに**産直野菜販売【あすかマルシェ】にチャレンジ**することとなりました。



当社グループ 管理マンションにおける「明日香村産直野菜販売」

あすかマルシェの様子



セントレイ大阪 (1,084邸)
阿波座ラオズタワーズ (565邸)
エールラン千里丘 (421邸)
グリーンフォート長岡京 (371邸)
宝塚エー (302邸)、他

2015年より2年間開催。農産物の売れ行きも良くお客様にも大変好評でした。

「官民連携包括協定」の締結へ

- 2015年から「明日香村地域振興公社」と約2年間実施した「あすかマルシェ」が順調に推移したことを契機にこの連携を発展させるべく「明日香村」も参画いただき協議が進展。
- それぞれが有する資源や特徴を活用し古都飛鳥の歴史保全活動・明日香村の産業及び地域活性を図るためのプロジェクトに連携・協力すべく2017年9月28日「官民連携包括協定」を締結し、新たな一步を踏み出すこととなりました。



★当社が協定締結の判断に至ったポイント（縁、課題についての検討状況、そしてタイミング）

- ①「あすかマルシェ」の準備・実施を通じて明日香村との交流や人脈が深まったこと。
- ②地元居住者参加によるワークショップの声・観光・農林・商工機関の声等が反映された「村内の課題」・「解決に向けた方針案」など優先順位等が整理されており、当社の約39万件のお客様・約500社のお取引先への情報提供・当社事業の手法・技術の応用がその解決に貢献できるとの判断につながったこと。
- ③明日香村は景観保存の為、建築・開発の法規制によりマンション事業は現実的に不可能なため「社会貢献活動」として専念できること。
- ④時期が当社の創立80周年・バブル期以降の会社再建完了と重なり「社会貢献活動」に集中できる環境が整ったこと。

★連携するプロジェクトの骨子

「明日香村を堪能するプロジェクト」

当社グループが管理するマンションの居住者・取引先等への明日香村の「情報発信」・「農林商工産物の販売」と地域振興。「飛鳥ハーフマラソン」

「明日香村を経験するプロジェクト」

貸農園事業や当社グループが管理するマンションの居住者への明日香村の「観光提案」・「農林観光体験メニューの提供」および交流促進。

「明日香村に居住するプロジェクト」

明日香村における新たな居住空間を創出し将来的な定住につなげるプロジェクト。

「官民連携包括協定」に基づく活動スキーム

明日香村の「課題」

人口減少

明日香村全体が景観維持保全のための明日香法等による開発・住宅開発の規制の影響もあり「人口が減少」し、減少率が拡大傾向にある。

農業振興

高齢化に伴う主力産業である「農業の担い手の減少」と「耕作放棄地増大」による景観が劣化しつつある。

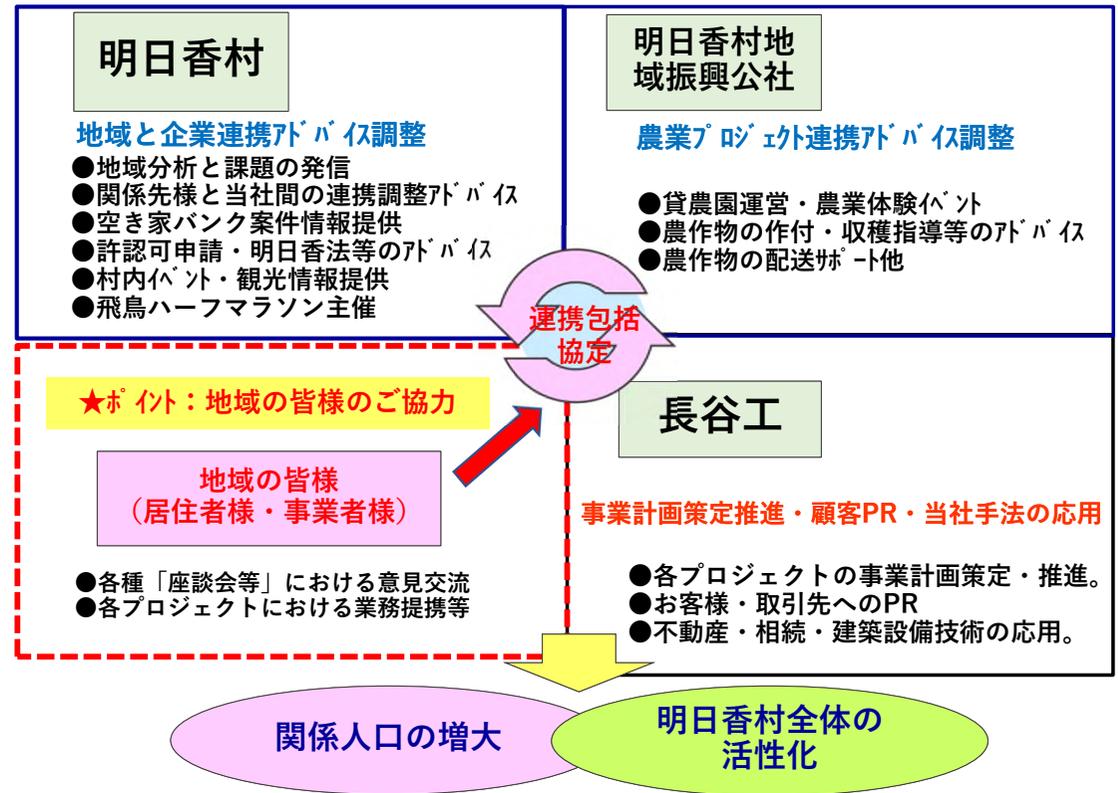
観光振興

もう一つの主力産業である「観光」について、観光人口は堅調であるが、「宿泊・長期滞在が少なく」地域経済活性化についての課題を抱えている。

空き家の増加

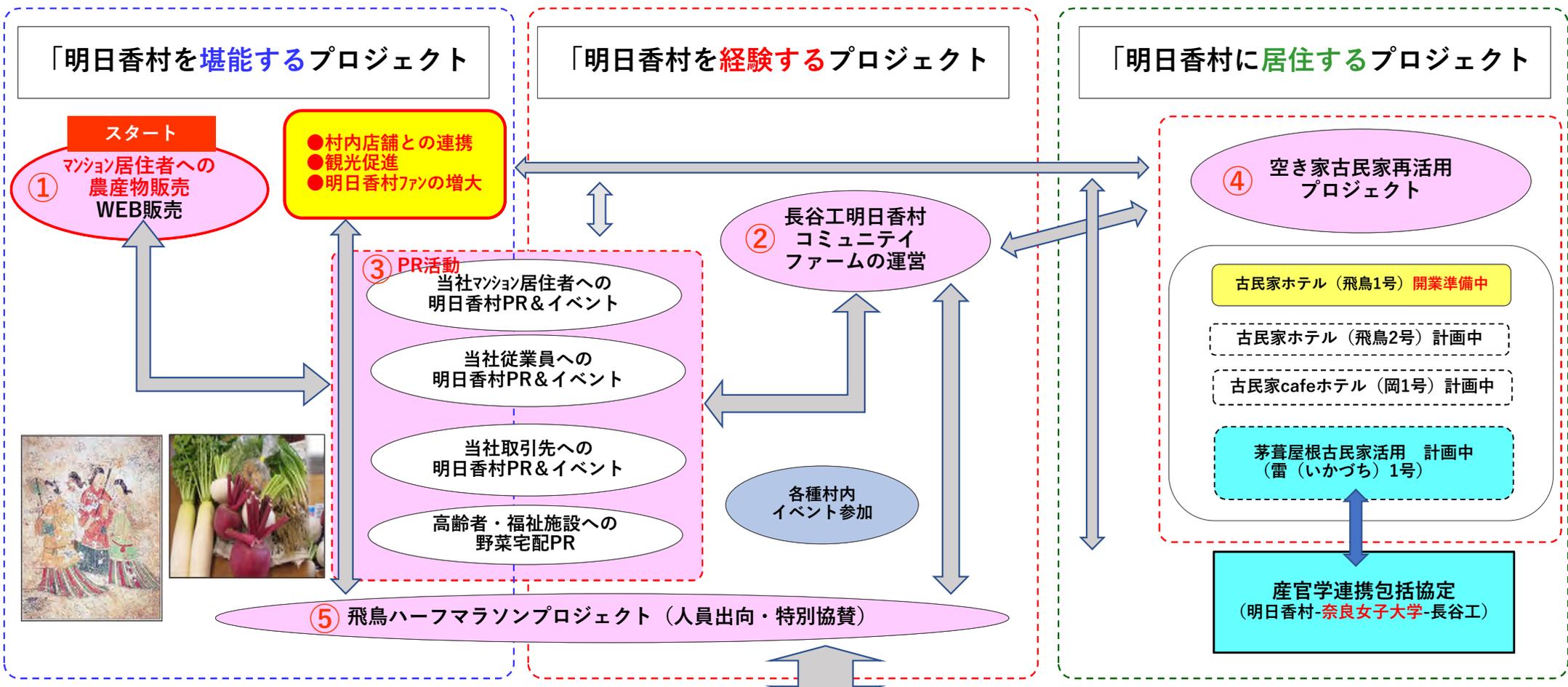
(防犯・防災・相続問題・歴史的建築物保存)

課題解決
プロジェクト連携



「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々のことで、地域外の人材が地域づくりの担い手として活躍されることが期待されています。

「5つの具体的プロジェクト」と「企業版ふるさと納税」（活動の全体像）



企業版ふるさと納税（2018年～2021年）「農業振興施設内機器整備事業・牽牛子塚古墳（けんごしづかこふん）整備事業・飛鳥ハーフマラソン大会事業に活用」

当社のプロジェクト体制

【明日香村PJ推進室】

[東京] 4名

[関西] 4名

計 8名

連携

連携

長谷工コミュニティ（貸農園運営・管理受託マンション居住者へのPR）

長谷工コーポレーション 法人営業部（お取引先様へのPR）

長谷工コーポレーション CSR部（高齢者・福祉施設へのPR）
（こども食堂への農産物無償提供）

長谷工ヴィレッジライフ（古民家宿泊事業運営会社を新規設立）

2019年
4月新設

※CSR活動として通常業務との兼務にて取り組んでいます。

明日香村

【人材交流】

[明日香村→長谷工] 1名（東京明日香村PJ推進室）

[長谷工→明日香村] 2名（明日香村教育委員会「飛鳥ハーフマラソン」担当）

（明日香村観光農林推進課）

貸農園プロジェクト（長谷工明日香コミュニティファーム）

農業&観光
体験

楽しい菜園ライフはじめませんか

多くの史跡と美しい自然に囲まれた観光の名所に、マンションの「長谷工」が「明日香村地域振興公社」と
コラボレーションしコミュニティファームを運営中！
この機会に楽しい菜園ライフをはじめませんか？ご家族の週末トリップにもお勧めです！

貸し農園
ご利用者様
募集中！

HASEKO ASUKA
Community farm

マンション管理事業を行う「長谷工コミュニティ」が運営
約4,000㎡・全36区画・手ぶらでOK・栽培指導付！
洗い場・トイレ・休憩所・シャワー室完備の施設です！

- オープン時より当社のお客様・お取引先・社員へ
PRを行い利用者募集を行うも、当初難航。
- そこで「無料収穫イベント」や「無料お試し区画」
を設け体感いただいたところ、応募が増え好転。
- 更に利用者様の「小さな区画でも楽しい！とのお声」を
活かし区画面積のバリエーションを見直し、約2年
を要しましたがフル稼働となり貸農園運営が軌道に乗り
次へ繋がる成功体験を得ることができました。

通常利用の他、当社プロジェクト全体の農業体験交流の場としても連携活用中

秋野菜収穫イベントの様子



農作業のあとは村内で観光やグルメを楽しまれています！

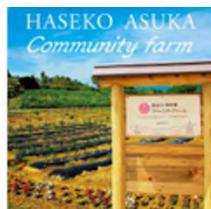
貸農園を活用した各種PR活動事例

長谷エココミュニティ管理受託マンション居住者（約39万件）へのPR

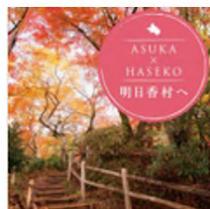
↓
 機関紙「素敵生活」やホームページ「素敵スタイル」にて
 明日香村のPRやオンライン販売サイト・観光サイトをご紹介します。



2021.01.07 Update
 ASUKA×HASEKO 明日香村へ



2020.10.08 Update
 長谷工明日香コミュニティファーム（貸し農園）のご案内



2020.10.08 Update
 ASUKA×HASEKO 明日香村へ

大粒、たっぷり果汁の「あすかルビー」が旬

甘味と酸味のバランスが絶妙の明日香村特産いちご「あすかルビー」。美味しい食べ頃を迎える1月から、村内で「あすかいちご狩りパーク」が開園。ぜひ旬のいちごをご満喫ください。



あすかいちご狩りパーク

オンラインでお取り寄せできます。
明日香宅急便
 （一般社団法人明日香村地域振興公社）



2021.07.14 Update
 『素敵生活』85号(PDF)



旅する明日香ネット

あすかなび

長谷工コーポレーション 法人営業部 法人提携先様（約500社）へのPR

参加費 無料
 提携法人様 先着50名 限定!!
 長谷工明日香コミュニティファーム
夏野菜収穫体験
 イベント開催!

開催日時 2019.7月28日(日) 9:30~13:00 (※小雨決行)
 受付開始 AM9:30 スタート AM10:00 解散 PM13:00

集合・受付場所 青呂納落センター
 近鉄「飛鳥」駅から徒歩約10分

申込締切 2019.7月8日(月)

イベントタイムスケジュール
 AM9:30 受付開始・イベント説明
 AM10:00 収穫体験イベント (ごちそうレシート・缶す・スライカなど)
 昼食 (各代表のお弁当・準備もご利用しております)
 AM11:30 貸農園・体験農園説明会
 おたのしみ抽選会 (明日香村の名産品をプレゼント)
 PM13:00 解散

イベント後は明日香村観光!

長谷工コーポレーション CSR部 高齢者・こども食堂への応援活動

明日香村から届いた冬野菜
 ご利用者喜んで頂いた写真など、ご紹介させていただきます。

■高齢者からの声
 「ご入居者からは新鮮な野菜を食からんことができて嬉しいです」
 「お肉を買って一週間レパートリ量のように食べて、野菜のシャキシャキがおいしかった」
 「あかぎを初めて食べたという嬉しいご声援です。」等
 ご入居者皆様、全て新鮮な野菜を食からんことも喜んで頂戴しました。

■高齢者から
 季節毎に、明日香村の新鮮な野菜も届けて頂き、ありがとうございます。
 スタッフ一同、お心遣いに感謝申し上げます。
 寒さ厳しい折、明日香村の皆様から届いた冬野菜をご紹介します。

空き家古民家再活用プロジェクト（活動スキーム）

解決を目指す「課題」

- ①空き家問題（安全面他）
- ②明日香法等の開発や住宅開発等の規制による人口減
- ③歴史的建築物の保存
- ④主要産業である観光について宿泊や長期滞在が少なく地域経済活性化面での課題がある。

解決上の悩み：住宅開発 ≠ 課題解決

当面の解決手法

すぐに居住という視点での取組よりも効果的に多くの方に明日香村を知ってもらい、かつ、空き家問題の解決、歴史的な建物保存などに結びつく計画を検討。

古民家を「宿泊施設」に改修。休日は来村して過ごす様な「二拠点居住者」や「関係人口」を時間をかけて増やし経済効果を上げながら移住希望者の創出を図る。

明日香村・明日香村地域振興公社・当社の連携

明日香村

空き家バンク情報提供

所有者様への
空家バンク補助金

空き家・制度・許認可・
地元と当社の橋渡し

明日香村地域振興公社

農業体験などの体験メニュー連携

施設への飲食デバ
リ連携等

連携

長谷工

古民家を売買取得または借受け建物を改修

事業計画策定と推進・不動産・**相続対策**・
開発・建築・技術・許認可他、民間事業手法
のプロジェクトへの応用。

石舞台～飛鳥寺～雷（いかづち）へ連なるルートで計画中



4ヶ所の 古民家 プロジェクト

①古民家ホテル（飛鳥1号）開業準備中

②古民家ホテル（飛鳥2号）計画中

③古民家cafeホテル（岡1号）計画中

④茅葺屋根古民家活用 計画中
（雷（いかづち）1号）

産官学連携プロジェクト
（明日香村-奈良女子大学-長谷工）

空き家古民家再活用プロジェクト
MAP

①古民家ホテル（飛鳥1号）「ブランシエラ ヴィラ 明日香」客室数2室 開業準備中



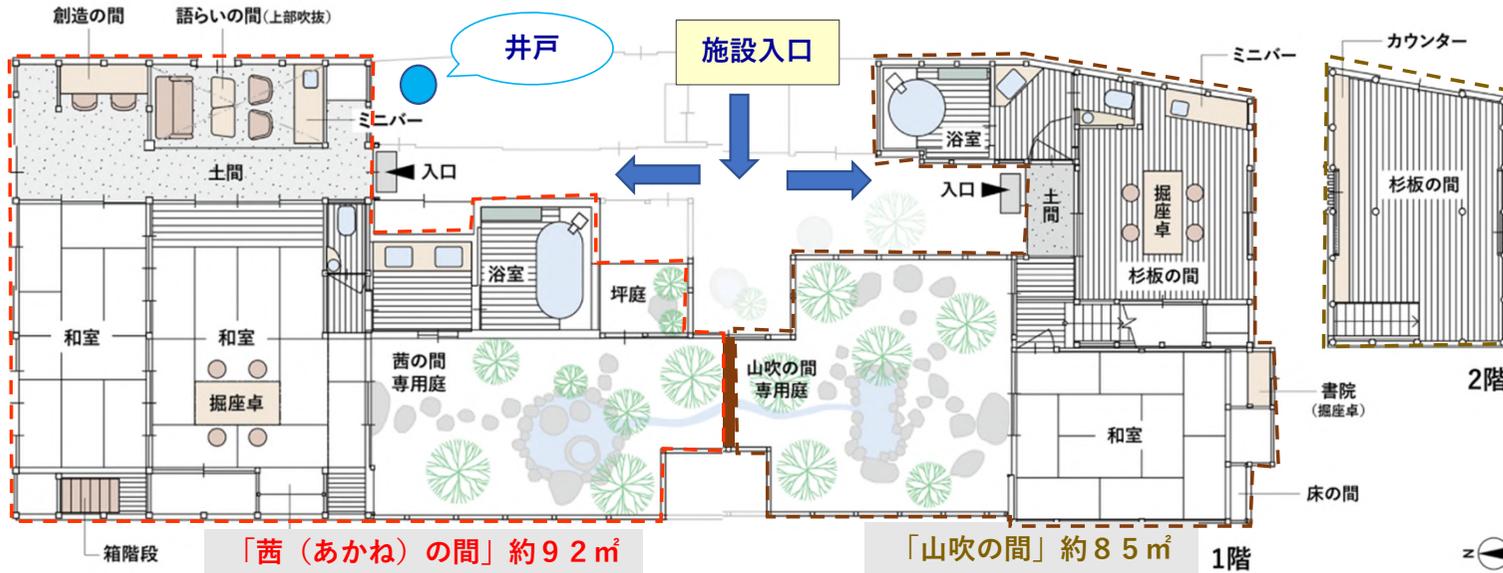
- 明日香村「空き家バンク」登録物件を当社が譲り受け宿泊施設として改修再活用する第一弾。現在開業準備を進めています。（客室2室）
- この建物は明治3年に新築後、約150年を経た価値ある歴史的建築物と言える農家住宅で「飛鳥寺跡」周辺の景観にも配慮し、外観及び間取りを一部を除きそのまま活用しています。



- 本施設は地域飲食店の活性化ご利用促進を目的に施設内での食事提供を行わない形式としています。
- また地域店舗に朝食や飛鳥鍋セットのデリバリーの協力をいただく予定です。
- 施設のパートスタッフも村内よりご応募いただいております。



「ブランシエラ ヴィラ 明日香」 客室レイアウト・最新技術の導入例・村内製品の活用等



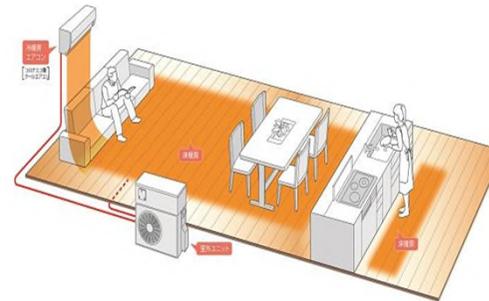
●のれん・看板・本棚・車止の他、多数の村内製品を施設に採用しています。
●また、地域の方々のご好意により多数の歴史書をお譲りいただき活用させていただく事ができました。



■ 非接触・非対面リモートチェックインシステム



■ 井戸水 有効利用システム (省エネ冷暖房・散水利用による節水)



【環境配慮と快適性をあわせたシステムの導入】

- ①一年を通して安定した温度を保つ井戸の地中熱を利用し〈省エネルギー〉〈省資源〉〈快適性〉を実現。
- ②同時に「環境大臣表彰」と「省エネ大賞・資源エネルギー庁長官賞」をW受賞しました共同開発のエアコン付ヒートポンプ床暖房機器を導入。省エネで環境に配慮した製品を採用しております。

②古民家ホテル（飛鳥2号）計画



- 本件も明日香村「**空き家バンク**」**登録物件**で当社が譲り受け宿泊施設としての再活用検討しています。
- 先程の飛鳥1号の2軒となりに建つ価値ある歴史的建築物で**蔵・かまど跡**・広い中庭のある農家住宅です。
- 屋根の劣化が進行し危険であった為**先行して**安全対策工事**を行いました。

③古民家cafeホテル（岡1号）計画



地域座談会開催案内



- 本件は**明日香村地域振興公社**の**活用事業公募**に**当選し当社が建物**を借受けて「**caféと宿泊の複合施設**」として再活用を検討している建物です。
- 本件は古くは「高市村役場」・「明日香村役場」として、近年は「明日香村観光会館」として親しまれた建築物です。村内の中心、石舞台古墳に近く「にぎわいの街特別用途地区」にある建物です。
- 「にぎわい通り」は**石調舗装・無電柱化**が進み景観が美しいエリアです。

④江戸時代築約400年。稀少な茅葺屋根古民家活用 雷（いかづち）1号 計画中

産官学連携（明日香村-奈良女子大学-長谷工）によるプロジェクト推進



明日香村の「歴史的資源」、奈良女子大学の「知」、長谷工グループの「活力」を結集。
明日香村の地域課題に対応し、明日香村の活性化、歴史保全活動及び活力ある地域社会の形成と発展を目的に、2020年12月1日に産官学による包括的連携協定を締結いたしました。

- ① 空き家等の資源を活用した地域活性化に関する事項
- ② 地域の歴史的建築資産にかかわる建築教育の共同実施
- ③ 地域産業の振興推進への助言・指導・実施
- ④ その他、産官学連携活動に寄与するものとして目的を達成するために必要と認める事項

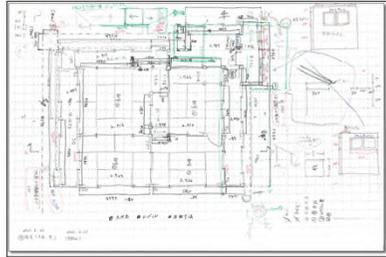


- 本件は、産官学連携しその活用方法を構築し明日香村の活性化、歴史保全活動を推進致します。
- 本件建物は、江戸時代に新築され、約400年の時を経た村内でも稀少な「かや葺き屋根」を有する歴史的建築物で、敷地を囲む「門屋」・「本屋」・「離れ」・「広大な中庭」を有するスケールの大きな案件で、学生達による各種実習・講義・活用検討会議で具体的計画の策定を進めています。

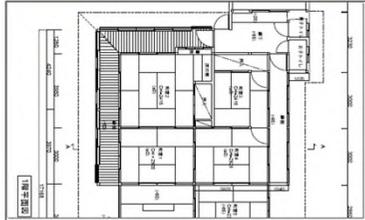
● 学生達の手測り建物図面作成実習



まずは「手測り・手書き図面」を作成



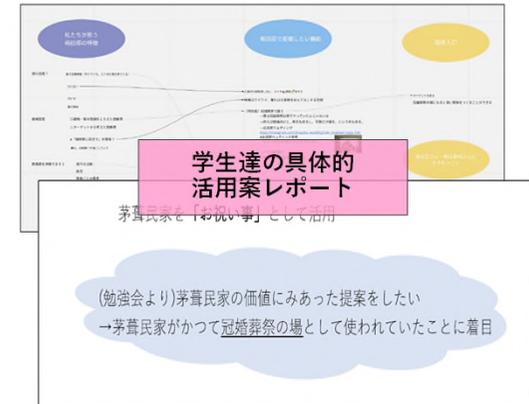
手書き図面を基に「デジタル詳細図面」作成



● 村内街歩きで飛鳥を知り「古民家」活用アイデアを検討



● 外部講師による地域活性化講義を受ける学生達



飛鳥ハーフマラソン ON-LINE 2021 (実績)

計画の骨子

飛鳥ハーフマラソンの「開催目的」

1. 観光

- ①閑散期の観光客数の底上げ
- ②スポーツ・体験を切り口とした新たな観光客層の新規開拓
- ③参加者やその家族が、明日香村に滞在し体感をするきっかけづくり

2. 地域活性化

- ①経済活性化：村内観光消費、施設利用、宿泊者数の増加
- ②村民の健康意識向上：村民・子ども達がスポーツへ興味・関心を持つきっかけづくり

3. 世界遺産登録の後押し

世界遺産候補地を巡るコース設定とし、大会を通して明日香村の魅力を発信

新型コロナ感染防止対策として2020年は

「ON-LINE」方式で開催：参加1,379名

1. ASUKA HALF MARATHON ON-LINE 2021 (飛鳥ハーフマラソンオンライン2021)

- ・開催期間：令和3年2月22日(月)～3月21日(日)
- ・種目：トレーニング(スマホと専用アプリを活用し、開催期間中に累積走行距離が21.0975kmを超えれば目標達成)
- ・募集人数：3,000人 ※1,379人が参加
- ・特別協賛：長谷エグループ 協賛：阪和興業 特別協力：読売新聞社、近畿日本鉄道 協力：東急スポーツオアシス



いこう 走って 未来へ

ASUKA HALF MARATHON ON-LINE 2021

~0th Anniversary~

開催期間 2021年 2月22日(月)～3月21日(日)

エントリー期間 2020年 12月1日(日)～2021年 1月11日(日)

明日香村にてストロベリーフェア同時開催

大会ホームページ <https://asuka-marathon.jp/>

特別協賛：長谷エグループ (HASSEI) 協賛：阪和興業株式会社 主催：飛鳥ハーフマラソン実行委員会、明日香村、朝日村教育委員会 特別協力：近畿日本鉄道、読売新聞社 飛鳥ハーフマラソン実行委員会事務局 〒634-0141 飛鳥郡海部町明日香大字1番地 91 番地の1 070-744-5456(2) 月～金:9:00～17:00(土・日・年末年始) メール: asuka.marathon@gmail.com

●ゲストランナーによる講演・イベント

【第一部】川内優輝さん講演「旅ランのススメ」



【第二部】内藤大助さん・小崎まりさん・川内侑子さん「ボクシング エクササイズ」



【第三部】川内優輝さん・エリック・ワイナイナさん「トップアスリート対談」



●「村内小中学生への走り方指導」



長谷エ コーポレーション
HASSEI

飛鳥ハーフマラソン 2022 (計画中)

開催要項

飛鳥ハーフマラソン 開催要項について

- (1) 大会名称 飛鳥ハーフマラソン2022 (英文名 Asuka Half Marathon 2022)
- (2) 主催 飛鳥ハーフマラソン実行委員会、明日香村、明日香村教育委員会
- (3) 主管 一般財団法人 奈良陸上競技協会
- (4) 特別協賛 長谷工グループ
- (5) 開催日 2022年3月13日(日) 予定
- (6) 種目 ハーフマラソン (21.0975km) ※その他種目を検討
- (7) スタート キトラ古墳周辺地区四神の館前
- (8) フィニッシュ キトラ古墳周辺地区四神の館前
- (9) 参加人数 ハーフマラソン 3,000人を予定 ※その他種目を検討
- (10) コース キトラ古墳周辺地区四神の館前をスタート、フィニッシュとする明日香村内のコース。
- (11) 募集時期 2021年9月頃予定

●2022年は、新型コロナ感染対策を行いつつ「実走」・「ご参加目標 3,000名」にて準備を進めています。

●コースは、地域の皆様・関係機関のご協力をいただき、「村内の世界遺産候補地」をめぐる21.0975Kmで開催。将来「フルマラソン」(42.195Km)への展開を検討しています。

●ゲストランナーによる「ランニングクリニック」も企画を進めています。

当社社員ボランティア：約250名参加予定

ASUKA HALF MARATHON 2022

走ってタネをまこう

1st ANNIVERSARY

第1回 飛鳥ハーフマラソン 2022年3月13日(日) 開催

2021年10月1日～10月10日
2021年10月11日～11月30日

長谷工グループ | イマホシHD | dyDo | NextPower | 昭和興業株式会社 | J.COM | 明日香村 | 奈良陸上競技協会 | 明日香村教育委員会

●2022年 3月13日(日) 開催予定

ASUKA HALF MARATHON COURSE MAP

GUEST

川内 健爾さん、エリック・ワイナイナさん、小嶋 まりさん、内藤 大輔さん

コース高低図

「飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群」は、世界遺産登録を目指しています。

走ってタネをまこう 飛鳥ハーフマラソンは、持続可能な社会づくりに向け、小さなことから取り組みます。

参加費やグッズ売上の一部が 菜の花のタネの購入費などに役立てられます。

マイボトル給水でエコな大会を目指します!

飛鳥ハーフマラソン 2022 大会概要

開催日 2022年3月13日(日) 村税 50%

種目 ハーフマラソン (21.0975km) 全乗物 50%

参加資格 大会当日満18歳以上の方でハーフマラソンを3時間30分以内で完走できる方

参加料 8,000円 定員 3,000名

主催 飛鳥ハーフマラソン実行委員会 明日香村 明日香村教育委員会

協賛 一般財団法人 奈良陸上競技協会

特別協賛 長谷工グループ

特別協力 読売新聞社 近畿日本鉄道株式会社

協力 奈良県観光物産協会 奈良県観光物産協会 奈良県観光物産協会 奈良県観光物産協会

お問い合わせ 飛鳥ハーフマラソン実行委員会事務局 ☎0744-54-5622 9:00~17:00 (土日祝除く)

●2021年10月11日(祝) 一般エントリー開始!

企業版ふるさと納税（2018年・2019年・2020年・2021年）の活用状況

明日香村が整備する農業振興
施設に必要な農機具等を設置



「ほんもの力を体感できる」
歴史体験の場を提供するために
「牽牛子塚古墳（けんごしづか）」
整備の補助



牽牛子塚古墳等の復元整備後の完成予想図

「飛鳥ハーフマラソン」への
特別協賛



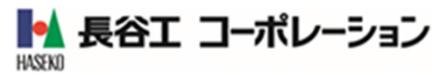
「企業版ふるさと納税」（地方創生応援税制）について

- ①内閣府が認定した自治体作成の「地域再生計画」を応援する為に企業が寄付を行った場合に法人関係税について軽減が受けられる制度。（法人関係税が寄付額の最大90%軽減されます。令和6年度迄。）
- ②企業側は、少ない負担で地域貢献が実現でき企業のPRに繋がるメリットが期待できる。
- ③自治体は、地域再生計画を進めやすくなり、企業連携の拡大・強化にも繋がるメリットが期待できる。

おわりに

- 1) 「小さなご縁」を契機に2015年よりスタート致しました当社の活動は、地域連携・ご協力に支えられようやくプロジェクト数も増え「カタチ」が見えてきました。（成果はまだまだこれからですが。）
- 2) 各プロジェクト共に、着手時に「課題と優先順位の整理」・「シュミレーション」を経て「計画」を策定し事業費面においても継続できる収益を確保すべく軌道修正を加えながら推進しています。
- 3) 「明日香村プロジェクト」の取り組みから学んだ点は、以下の4点です。
 - ①数年では貢献度や活動の評価が難しいため「長期の目標を設け継続すること」が大切であること。
 - ②プロジェクトを継続する為には、事業として軌道に乗せて成功させ、「新規参入企業様等、外部より明日香村での活動に魅力を感じ、評価いただける様な成果」を目指さなければならないこと。
 - ③明日香村・明日香村地域振興公社との連携・相互協力はもとより 地域にお住いの皆様・事業者様及び各関係機関の皆様のご理解・ご協力を得、そのお声を活かしお応えすることが大切で地域貢献活動を進める上で欠かせないこと。
 - ④地域活性化の手法は色々考えられますが「特効薬」の様なものではなく地域の特性と強みを活かし時代にもマッチする手法を探求・継続しながら一歩ずつ育てていくことが重要と考えます。

本日はご関係の皆様ご多忙の折、当社活動報告の機会を賜り御礼申し上げます。今後もこの様な機会・情報交換の場で学ばせていただき地域貢献活動に活かして参りたいと考えております。今後共宜しくお願い申し上げます。



ご清聴いただきありがとうございました。